

審査結果報告書

2023 年 / 月 26 日

主 査 氏 名

岩 瀬 優 美



副 査 氏 名

水 島 栄



副 査 氏 名

田 中 浩 平



副 査 氏 名

深 瀬 裕 子



1. 申請者氏名 : DM19005 金子 周平

2. 論文テーマ :

Everyday memory function and cognitive styles in adults with autism spectrum disorder: The relationship between the Rivermead Behavioral Memory Test performance and Empathizing-Systemizing models
(自閉スペクトラム症者の日常記憶の働きと認知スタイルの検討
—リバーミード行動記憶検査の遂行成績と Empathizing-Systemizing モデルとの関係—)

3. 論文審査結果 :

本研究は自閉スペクトラム成人と健常者とを比較し、リバーミード行動記憶検査を用いて、自閉スペクトラム成人の日常記憶の働きについて検討することであった。自閉スペクトラム患者 22 名と健常者 20 名を対象に、リバーミード行動記憶検査（日常記憶）、WAIS-III（知能検査）、PHQ-9（うつ病性障害の症状レベル）、GAD-7（全般性不安障害の症状レベル）、Empathizing Quotient（共感能力）、Systemizing Quotient、Autism Spectrum Quotient（自閉スペクトラム症の状態像）を測定した。

その結果、リバーミード行動記憶検査の総合得点と展望記憶得点において、自閉スペクトラム成人は健常者と比較して、有意に得点が低かった。一般化線形モデルを行った結果、Empathizing Quotient（共感能力）がリバーミード行動記憶検査の得点を有意に予測した。

以上より、自閉スペクトラム成人の日常記憶や展望記憶は、健常者と比較して低く、日常記憶の働きについては、共感能力や心の理論の影響が関係していることが示唆された。自閉スペクトラム症患者の状態を把握し、心理支援を実施するために重要な知見を得ることができており、臨床的に意義のある研究である。以上より、本研究は博士課程の学位にふさわしいと考えます。